

平成29年度

委員会 研究ならび事業報告

部・委員会名
図工・美術科
(委員数 8名)

委員長	片瀬 月子	(千代小学校)
副委員長	木下 武	(浜井場小学校)
会計	村澤 由笛	(豊丘南小学校)
記録	坂倉 正人	(旭ヶ丘中学校)

研究テーマ	自分らしい表し方に喜びを感じ、学び合える表現や鑑賞の指導はどうあったらよいか
研究内容 (箇条書き)	<p>～中学校美術科における「学び合い高め合い」のあり方～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去2年間の研究によって小学校低学年「造形遊び」において、「学び合い高め合い」の姿やそのための基盤、それに伴う教師の指導観の変容や次時につながる評価のあり方などの成果を見ることができた。 ・今年度は中学校でも「学び合い高め合い」が成り立つのか研究をする。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「学び合い高め合い」が成立する教材化(絵画、デザイン領域での実践を通して) ② 「学び合い高め合い」での評価(声掛けの工夫、振り返りの機会の保証) <p>授業分析の窓口は次の3点 「個の変化」「集団の変化」「教師の意識変化(対子ども、対授業)」</p>
成果と課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ○共通のイメージやテーマの設定をすることで、友との関わりを自然と生み出した。 ○話し合いの場の設定は、生徒の実態に合わせて柔軟に考える必要がある。 ○「学び合い高め合い」の学びの対象は、人に限らず「もの」でも成立することがわかった。「もの」を介して自分の内面と十分に語り合う「学び合い高め合い」が存在していると考え。 ○学習カードにデザインのもととなる形や制作後の感想をかくことが、個人の制作過程や、気持ちの変化を振り返り学びや高まりを自覚するためには大切である。 ●ICTの効果的な利用による評価のあり方、試行錯誤や鑑賞のための一つのツールとしての利用も考えていきたい。 ●どのようにすれば「もの」と関わる「学び合い高め合い」ができるのか。どのような姿が見られれば「学び合い高め合い」ができたといえるのかを考えていきたい。
公開授業	<ul style="list-style-type: none"> ・10月13日 緑ヶ丘中学校1年『学級のシンボルマークをデザインしよう(デザイン)』(事前研究授業)参観者10名(一般0名) ・10月23日 緑ヶ丘中学校1年『学級のシンボルマークをデザインしよう(デザイン)』(公開研究授業)参観者11名(一般1名)
他 諸活動 研修会 講演会 冊子作成 など	<ul style="list-style-type: none"> ・6月17日 緑ヶ丘中学校「図工美術科基礎実技講習会」参会者19名(一般12名) ・11月5日～7日 丸山小学校「郡総合展覧会 絵画・彫塑等作品の展示と審査」 ・10月14日 緑ヶ丘中学校「長野県児童生徒作品展・今を生きる子どもの絵」審査協力 ・9月7日 旭ヶ丘中学校 中学校教育課程研究協議会(美術)午後の研究協議の運営 ・10月20日 泰阜小学校 小学校教育課程研究協議会(図工)午後の研究協議の運営